



むなかた

むなかた

市議会だより

平成27年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会

●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号

●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591

●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>

●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

平成26年度の事業実績として、定住化推進のための助成制度により1126人の転入があったことや、自主防災組織活動の充実・強化のため、地域や小学校でリーダーとなる防災士を45人育成したことなどの報告がありました。（平成26年度決算の詳細は、本号（11月1日号）のむなかたタウンプレス2〜3頁を参照）

委員会の討論の中で次のような意見・要望が出ました。

- 図書館を利用した調べ学習コンクールの実施や他人の心がわかる思いやりを持ったグローバル人材の育成など、今後もさらに主体性のある子どもの育成に取り組んでほしい。
- 市債残高や基金残高、そして、今後の公共施設などの更新を考えると、基金への積み立てや抜本的に歳出を見直さなければ、将来の市の財政が危ないのではないか。
- 近年、財源確保のため財政調整基金を取り崩している。歳出を見直さなければ市の財政の先行きに大きな不安を感じる。
- システムの保守点検委託料の金額が大きい。今後の財政状況を考え、少しでも減らす努力を。
- 子育て世代に選ばれるまちを目指し、本市は手厚い支援をしている。今後は、市の部署間の連携を十分に行い、施策のさらなる充実を図ってほしい。
- 世界遺産登録活動はこれからの正念場だが、浮き足立つことなく

平成26年度の決算内容

平成27年度第3回宗像市議会定例会が、8月31日から9月29日までの期間で開催され、市長提案の議案24件、議員提案の議案1件、意見書1件、発議4件について審議を行いました。

本定例会では、みなさんが納めた税金がどのように使われたのか、平成26年度決算審査を行い、全ての決算を認定しました。

税金の
使い方を
チェック!!

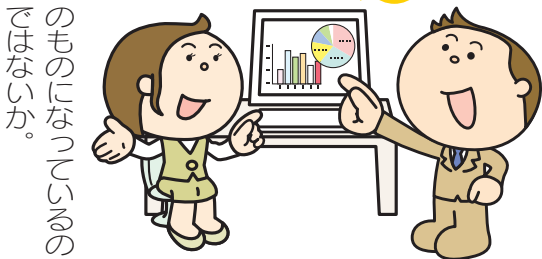
平成26年度決算を認定

普通会計

歳入 350億7325万円
歳出 343億8271万円

しっかりと足元を見据えた予算措置を行ってほしい。

●全体的にイベントが多すぎるのではないか。そして、それが一過性のものになっているのではないか。



決算審査と事業評価の結果を
今後の予算審査へ

前号の議会だよりでもお知らせしましたとおり、閉会中の7・8月にかけて3常任委員会で、それぞれ所管する事業の中から選定した4事業について調査・評価（事業評価）を行いました。その評価結果の一部を下記に掲載します。市の事業は、予算の審査・議決という形で、市議会が最終的に決定しています。今回の決算審査および事業評価の結果を、各定例会で実施している一般質問や予算特別委員会の中で今後の予算や事業に反映させていきます。

事業評価結果一覧表（抜粋）

常任委員会名 事務事業名	今後の取り扱いレベル （※1）	今後の取り扱いに関するコメント（抜粋）
総務 企業誘致事業	A 拡大	これまでの誘致活動を総括した上で、まずは企業誘致の具体的な戦略を明確にする必要がある。また、今後は必要な予算を確保し、企業誘致課（仮称）の設置、ニーズの把握などに取り組み、積極的な誘致活動を行うべきである。
総務 定住化推進事業	B 現状維持	今後は、地区を限定した戸建て住宅に対する補助を行うなど、確実な定住につなげていく具体的な施策を充実させることが必要である。また、併せて、女性が働く場の確保など現実的な問題に対する施策、過去の取り組みの分析、若い人を離島に呼び込む施策なども行うべきである。
社会 健診・保健指導事業	C 改善	受診率向上や健康管理意識向上のため、次のような取り組みを。①がんを早期発見した受診者のコメントの広報掲載などによる啓発。②一部の検査項目を、かかりつけ医等で個別に受診できることの広報。③スピーディーな検査結果の通知。
社会 市民スポーツ推進事業	C 改善	地域コミュニティの活性化につながるようしてもらいたい。また、より多くの市民がスポーツや健康づくりに関われるように、環境づくりに努めてもらいたい。そして、これらを推進するため、スポーツ推進委員の増員や健康づくりの担当部署との連携などの検討を行ってもらいたい。
建設産業 観光集客推進業務委託事業	C 改善	これまでの業務委託内容を検証し、時間的制約や限られた予算の中、事業の整理を行い、今後の業務委託に活かすこと。事業全体のコーディネート、観光で利益を出すため経営部門の体制強化、人材の育成・確保、企業との連携を行うこと。早急に評価手法を改善し、明確な数値目標を示すこと。
建設産業 特産品開発事業	C 改善	世界遺産登録にむけて大島への観光客の増加が見込まれる。特産品は観光客の満足度、PRにもつながるため、次の事項などを検証しながら、事業を進めること。①本事業のあるべき姿、目標値の設定。②需要と供給のバランス、事業に携わる島民の意向確認。③島民の生活向上に寄与できるのかの検証。

※1 今後の取り扱いレベル A：拡大 B：現状維持 C：改善 D：縮小 E：廃止（休止）

賛成多数で可決
特定個人情報
保護条例を制定
10月5日より
施行

主な質疑

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）が施行されることに伴い、市が保有する特定個人情報保護するための条例を定める必要がありま。9月定例会では、特定個人情報の定義、取り扱い（収集、保有、利用など）、情報の開示などについて、必要な事項を定める条例案が市長から提案されました。

特定個人情報とは
個人番号（マイナンバー）を含む個人情報（※2）。個人番号は一人一人異なる12桁の番号で、10月以降に全国民に通知される予定です。

Q 市が個人情報を適切に管理するための具体的な措置とは。
A データに関する機械的な予防措置、ウイルス対策、データの暗号化、職員の認証制度化・研修などに加え、住民情報システムをインターネットから隔離する作業などに取り組んでいる。

Q 情報を各機関がやり取りする途中で、サイバー攻撃（※3）を受けた場合、大量の情報が漏えいする危険性はないのか。
A 個人情報は各機関で分散管理し、情報のやり取りは暗号化した符号で行うため、情報は容易に抜き出せない。また閉鎖されたネットワークの中で情報をやり取りするため、サイバー攻撃を受ける可能性は低い。

※2 個人情報 生存する個人に関する情報で、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述により特定の個人を識別することができるもの。
※3 サイバー攻撃 インターネットなどを利用して、標的のコンピューターに不正に侵入してデータの搾取や改ざんなどを行うこと。

平成27年9月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が、市の行政事務全般について、市の見解を問うものです。

平成27年9月1日～4日の4日間にわたって、17人の議員が合計30項目の質問を行いました。

○議員が質問を行った順に掲載しています。

○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。

○質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



宗像トータルデザインの導入とびゅうおクラブ／安部 芳英

問 区域にとらわれることなく、全ての公共施設などを対象とした都市としてのデザイン調整や指導的役割を担う専門的な部署が必要ではないか。

答 専門的な部署の設置は現在のところ考えていないが、公共施設のデザイン調整を行うための体制は必要と思われるので運用体制を含めて検討したい。



問 公共資産（例えば封筒、公用車、バス、ホームページ、広報紙など）のデザインについても各部門バラバラに行うのではなく、トータルデザインの導入を行い、施設改修や資産の更新時期に合わせ段階的に反映させていく仕組みを導入すべきではないか。

答 調査研究を行い、効果が見込まれるものについては導入したい。

問 JAと連携し、商品開発や販売、購買者と生産者をつなぐようなコーディネーターを養成できないか。

答 現在、産業振興計画を策定しているので、JAと連携し、直売所、コー



農業再生の視点について 宗像志政クラブ／伊達 正信

問 T P P 交渉が大詰めを迎えている。宗像の農業に与える影響と本市の今後の農業施策を問う。

答 交渉次第では大きな打撃を受ける可能性が高いと考える。将来にわたり安定した農業を維持し、活性化を図るため関係機関と一緒に検討していきたい。

問 企業 O B の知識と経験を生かし、IT 化による農作業の効率化と省力化が図れないか。

答 農業経営の改善に大きく役立つ可能性があるので、技術導入については調査研究を行いたい。



予防接種に関する市の責任は 公明党／岡本 陽子

問 平成26年10月より定期接種化された高齢者肺炎球菌予防接種の市民への周知を徹底するために個別通知が必要では。

答 接種には接種の履歴や意思の確認が必要。また、自己負担額も5千円超である。理解の上で接種する必要がある。個別通知は大きな効力があるため、慎重に検討したい。

問 ロタウィルスの感染性は強く、乳幼児、母親の精神的負担は大きい。ロタウィルス予防接種の必要性に関する市の見解と公費助成の考えは。

答 直接効果だけでなく



集団的な免疫効果も認められており、医療費抑制、保護者の負担減にもつながる。しかし、国の機関から副反応の発症事例の報告もある。公費扶助は有効性・安全性が確認された上で国や県の方向性とあわせて検討していく。

問 高齢者を対象とした



高齢者雇用対策の推進を 宗像志政クラブ／花田 鷹人

第6期宗像市保健福祉計画では、高齢者が知識や経験および能力などを生かし、社会参加を進めることが重要としている。

問 市は高齢者の雇用対策にどう関わるのか。

答 市が関わる具体的な就労支援としては、シルバー人材センターの組織運営の補助と各種委託業務がある。元気な高齢者の方々に豊富な知識や経験、能力を生かしていただくことは、ご自身の介護予防となり、また、社会貢献にもつながると期待している。

問 高齢者を対象とした



求人・求職情報提供の窓口を設置できないか。

答 平成18年に宗像市役所にハローワークを誘致し、一定の機能は果たしているため、高齢者雇用に特定した窓口の設置は予定していない。

問 高年齢者を対象とした



総合スポーツセンターの位置づけとびゅうおクラブ／北崎 正則

問 スポーツ推進計画における総合スポーツセンターの位置づけは。

答 市民の誰もがスポーツに親しめる中核拠点施設として位置づけている。

問 スポーツ推進の中核になる総合スポーツセンターだが、建設に向けての現状の課題と今後の進め方は。

答 財源の確保が困難となり1万平方メートル規模の建設は困難と判断した。今後は中核拠点としての機能と財源を基軸に抜本的な見直しを行い、早い時期に結論を出したい。



多様な個を活かす地域社会づくり みらいの和み宗像／高原 由香

問 チャレンジ雇用（※4）実施後の職員の意識や行動変容と課題は。

答 障がいのある方の能力、可能性の広がりを実感している。できる可能性がある業務をしていたりしながら、職員がいかにして指導方法などを身につけるかが課題。

問 チャレンジ雇用の求人募集においての課題と今後の対策は。

答 昨年は、障がいの程度を考慮して、各種事務補佐として全庁的に募集したが、応募は1件のみであった。今後は、採用のイメージがしやすい



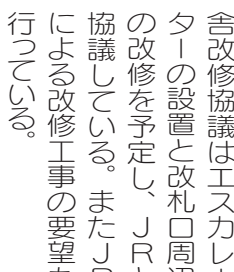
田熊石畑遺跡の活用は 宗像志政クラブ／吉田 剛

問 田熊石畑遺跡と「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の関係は。

答 宗像人のルーツとして関連遺産群の歴史的価値をサポートする関係。

問 田熊石畑遺跡を身近に学ぶことがグローバル人材育成に与える影響は。

答 グローバル人材育成の基礎になるアイデンティティ（※6）の醸成



世界遺産の玄関口として東郷駅はどうあるべきか

問 駅前広場整備、自由通路部分の改修、駅舎改修協議はエスカーレーターの設置と改札口周辺の改修を予定し、JRと協議している。またJRによる改修工事の要望も



どう進める？介護予防・生活支援 ぐくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

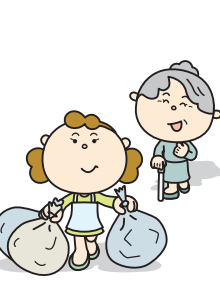
新総合事業では、住民主体の支援をいかに進めるかが大きな課題だ。

問 住民主体のサービスとして想定していること。

答 訪問型サービスでは、ゴミ出しや草取り、電球交換などの生活援助、通所型サービスでは健康体操や茶話会などの居場所づくりを想定している。

問 担い手の確保と育成、地域住民の協力を得る方法は。

答 制度改正や総合事業の理解を深めるための説明会や出前講座を行って



利用者と提供者のマッチングや体制づくりの要となる生活支援コーディネーターの配置、養成計画は。

答 7～9月の間に、積極的に研修会などへ参加し、生活支援コーディネーターを養成できるような事業内容を検討する。

問 地域に愛され育まれる公園に

※4 チャレンジ雇用は知的などに障がいのある人を各自治体において非常勤職員として雇用し、力を高める。

※6 アイデンティティは同一性、個性、国や民族など特定集団への帰属意識。

1～3年の業務経験を踏まえ一般企業などへの就職につなげる制度。

※5 ダイバーシティ&インクルージョンは多様性を受け入れ、さまざまな意見やアイデアを聞き入れることで組織



スポーツ施設の再構築と再整備を
宗像志政クラブ／神谷 建一

問 総合体育館建設を含め、今後のスポーツ中核拠点施設整備の方針は。

答 限られた財源の中で、どのような機能、規模の縮減が可能か、その縮減した機能はどこに求めるかをあわせて検討すべきと考えている。

問 練習場の確保のため、民間や大学の施設利用の補助制度などを検討できないか。

答 民間施設との連携、スポーツ団体との協議を重ねた上で、市営施設の使用料との調整も図りながら検討していく。

世界遺産登録・
対策強化を急げ

問 通常、上陸が認められていない沖ノ島への来訪者への対策は。

答 沖ノ島へは上陸できない旨の告知を徹底し、宗像大社や県と協議しながら、監視要員の配置や海上保安庁の協力などを含めて管理体制強化を検討したい。



沖ノ島



世界遺産登録・当面の課題
とびうおクラブ／森田 卓也

問 世界遺産正式決定に向け、役所の推進体制を強化すべきと思うがどうか。

答 2年後の世界遺産登録に向けて、取り組む業務は多岐にわたるため、市役所全体で臨む必要がある、体制強化を図る。なお、担当部長の設置についても業務量を勘案しながら判断していきたい。

問 宗像大社周辺への来訪者受け入れのため、スケールの大きなまちづくりが必要と思うがどうか。

答 来訪者対策は喫緊の



宗像大社



新地方公会計制度の導入を早急に
公明党／石松 和敏

問 現行の会計制度の問題点についての認識は。

答 資産に関して将来にわたる必要経費を合理的に算出する概念がなく、長期的な財政運営には不向きであると考えている。

問 固定資産台帳の整備が不可欠であるが進捗は。

答 固定資産台帳は27年度末時点の情報で整理する必要がある、遅くとも28年度末までに整備する。

問 庁内体制は計画性を持ち組織を挙げて取り組む必要があるが認識は。



持続可能な地島振興を急げ
宗像志政クラブ／小島 輝枝

問 漁村民泊事業の進捗よく状況と今後の方針について検討していく。

答 今年度は受入体制を構築し、その後28年度をめどに、市内の小学校や子ども会などを対象に可能な範囲で民泊事業の試行を行う。

問 地島の体験交流施設の機能と運営母体を問う。

答 漁村留学・診療所・離島体験交流・渡船待合所の4つの機能があり、運営は、市の直営で行う。

問 地島の文化である地島小学校の今後の展望は。

答 離島振興策を展開



決算審議に活用する関係書類



大型体育館の計画見直しについて
市民連合／福田 昭彦

問 既存の3市営体育館を廃止し、大型体育館（総合スポーツセンター）を新設する計画が昨年から進行している。ところ

が国から交付されるはずだった社会資本整備交付金の約20億円が交付されないことが判明した。総

工費62億円の内、合併特例債で22億円、その他は市の負担となるため、市

は抜本的な計画の見直しを迫られている。本計画の見直しの状況は。

答 当初計画の施設規模1万平方メートルでの総合スポーツセンター整備は、国からの財源の確保



全国豊かな海づくり大会を宗像へ
宗像志政クラブ／井上 正文

問 天皇皇后両陛下ご臨席の三大行幸啓の一つである全国豊かな海づくり大会誘致の効果と課題は。

答 効果は、県内の各記念イベントで本市PRができること。課題は、多くの来賓などの受け入れ体制の整備と考えている。



池ため裏ヶ根数 (名残区)

豊かな水資源の確保と
環境保全を

問 ため池のしゅんせつについて、優先度の高いものから行つべきでは。

答 中長期的な改修計画に基づき、国県の補助金



総合体育館計画はいったん白紙に
日本共産党／植木 隆信

問 市民体育館など3体育館廃止を前提とした総合スポーツセンター建設計画は、市民の理解が得られていない。

その上、財政面も厳しくなり、市長は「抜本的見直し」を表明した。この計画はいったん白紙に戻し、3体育館存続を前提とし、将来を見据えて

規模・財政・場所など、市民が納得できるように急がず十分時間をかけて検討すべきではないか。

答 当初予定していた国からの交付金の確保が困難となったため抜本的な見直しを行う。今後は議会特別委員会からの提言を重く受け止め、財源の問題だけではなく、中



市の責任で充実した教育環境を
日本共産党／新留 久味子

本市は、小中学校の正規教員不足を県交付の臨時免許を授与した教員で対応している。

問 このうち学級担任は何人か。

答 今年度、臨時免許の教員は4人。そのうち2人が学級担任をしている。

問 フルタイムで働く非



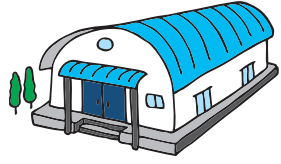
国民健康保険税の在り方
日本共産党／末吉 孝

問 平成25年4月の国保税値上げに際して市民にどのように説明したか。

答 1年間にわたり、広報紙、ホームページなどを通して、国保財政の危機的状況、国保税率改定や医療費適正化推進の必要性などについて周知した。また、コミュニティ単位の説明会も実施した。

問 医療給付費を過大に

核拠点施設としての整備水準、既存の3体育館の在り方、場所など、総合的に検討、整理を行う。市民の皆さんにも心配をかけているので、できるだけ早い時期に結論を出したい。



問 小中学校の普通教室は、学校環境衛生基準値にあつた室温になつているか。

答 養護教諭などがチェックしているが、教育委員会では把握していない。



問 国保税の値下げと子育て世代の減免の検討を。

答 国保会計の収支状況、社会情勢などを総合的に勘案して判断したい。



提出議案と議決結果

9月定例会で審議し、可決、認定した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内 容
宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例	新たに2つの附属機関を設置し、4つを廃止、1つの事務内容について追加する。 (設置：空家等対策協議会、立地適正化計画策定委員会)
字の区域の変更	都市計画法に基づく開発行為により造成された地域の住所を分かりやすくするため、字の区域を変更する。 (曲の一部、宮田一丁目の一部を自由ヶ丘七丁目に編入)
財産の取得	消防ポンプ自動車購入の物品売買契約を締結する。
平成27年度宗像市下水道事業会計利益剰余金の処分	地方公営企業会計制度の改正に伴い、新会計基準への移行により生じた利益剰余金の整理をする。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
宗像市特定個人情報保護条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
宗像市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成26年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成26年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成26年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成26年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成26年度宗像市下水道事業会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成27年度宗像市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	◆	◆
平成27年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 吉田益美議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

総合スポーツセンター整備事業
調査特別委員会 調査報告

（調査の経過）
平成26年10月の第1回特別委員会から内部の勉強会を含め11回の会議を行い、施設規模、財政負担の問題、既存3体育館の在り方などの調査を行ってきました。市へ行った主な提言の内容は以下のとおりです。

（提言）
■財政面から総合的に判断し、今回の総合スポーツセンター建設計画については抜本的な見直しを求める。
■建設時期についても、現在、オリンピック需要などで建設工事費の高騰が予想されるため、市場調査を十分に
（予定）
12月定例会の日程
（予定）
日程
■建設後の維持管理費を含め、本市の財政状況に応じた施設とすること。
■市民ニーズの調査、意見集約を十分に行い、将来の財政負担についても、市民に丁寧に説明を行うこと。
一つ一つの工程をきちんと踏まえ、施設整備の候補地についても、交通の利便性、安全性を考慮し、多くの市民に利用されるような施設となるようにすること。
■既存の3体育館の在り方については再検討を行うこと。
■公共施設の大規模な更新等に要する資金については、毎年、計画性をもつて積み立てを検討すること。

議員研修会
8月24日八幡市民会館にて開催された福岡県市議会議長会議員研修会に参加しました。

全国市議会議長会の政務第一部部長の澤田淳一氏より、「地方財政の現状と課題」、「（財）日本経済研究所の専務理事・地域未来研究センター長の鍋山徹氏より、「地方創生に向けた地域の活性化」をテーマとした講演があり、地方自治体の抱える課題について学習しました。

議員研修会の様子

意見書
1件の意見書を可決し、国に提出しました。

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
【賛成多数で可決】

（要旨）
政府は平成28年度予算に盛り込む地方創生関連施策の指針となる「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を閣議決定した。今後、「地方版総合戦略」の策定推進とともに、地方財政措置や新型交付金など継続的な支援とその財源確保が重要となる。そこで、「まち・ひと・しごと創生事業費」と関連事業・補助金、新

編・集・後・記
幕末の教育者・吉田松陰の妹を主人公にしたドラマ「花燃ゆ」には、萩生まれの私が、幼い頃から聞かされていた言葉が幾つか出てきます。その一つが「飛耳長目（ひじちようもく）」。意味は遠くのことをよく聞き、物事の観察に敏感であること。議会だよりがまさに市民にお伝えするよき情報でありたいと思います。
（北崎 正則）

市議会に関する問い合わせは
議会事務局へ Tel 0940(36)1119
市議会のくわしい情報は
ホームページをご覧ください。
宗像市議会 検索

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
▼請願の提出締切日は11月20日（金）です。
▼予算第1特別委員会是一般会計を、予算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
▼本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。